

F A C E

E C C

A G P



**AGP
PROFILE**

社長メッセージ



AGPグループは、「技術力を極め、環境社会に貢献します」という企業理念のもと、安全を最優先に、これまで培ってきた技術とスキルを次世代へ継承しながら、社会課題の解決に取り組んでおります。なかでも、空港にかかわる環境課題への対応は、当社の使命であり、企業価値の源泉と考えております。

1965年に大阪国際空港（伊丹空港）で設立した当社は、現在では羽田・成田の他、中部・関西など国内10空港において、駐機中の航空機へ電力や空調を供給し、空港インフラを支える役割を担っております。さらに、空港の特殊設備（手荷物搬送設備等）やセキュリティ機器の保守、航空機の運航をサポートするGSE（航空機地上支援機材）の販売など空港運営を多角的に支援しております。また、空港外では、物流倉庫の保守やフードカートの販売にも事業領域を広げております。

今後は、空港分野の脱炭素化の推進、インバウンド6000万人達成への貢献、技術革新と人財への投資を両輪に、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

これからも「挑戦と継承」を胸に、未来の空港インフラを支え続ける企業として、皆さまとともに歩みを進めてまいります。

2025年6月
代表取締役社長
山崎 有浩

これまでの歩みと信頼の実績

設立60年の会社です

企業情報

商号	株式会社エージーピー AGP CORPORATION
設立	1965年12月16日 日本空港動力株式会社 設立 2000年9月1日 株式会社エージーピーに商号変更
資本金	7億395万円(2025年12月現在)
従業員数	単体：577人 連結：625人 (2025年3月31日時点)
代表者	代表取締役社長 山崎 有浩
本社	〒144-0041 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号 TEL：03-3747-1631 E-mail： info@agpgroup.co.jp
グループ会社	株式会社エージーピー沖縄 Airport Ground Power (Thailand) Co., Ltd.
関係会社	株式会社Aリリーフ Smart Airport Systems Japan株式会社
主な株主	日本航空株式会社 日本空港ビルディング株式会社 ANAホールディングス株式会社
登録免許	特定建設業 電気・管・機械器具設置 工事業 国土交通大臣許可(特-4) 第17596号 一般建設業 塗装・電気通信工事業 国土交通大臣許可(般-4)第17596号 小売電気事業者 登録番号A0340

沿革

1965年12月	「日本空港動力株式会社」を設立
1967年12月	伊丹空港において営業開始
1968年9月	福岡空港において営業開始
1972年1月	千歳空港において営業開始
1978年5月	成田空港において営業開始
1983年3月	羽田空港において営業開始
1984年11月	那覇空港において営業開始
1994年9月	関西空港において営業開始
1995年12月	設立30周年
2000年9月	「株式会社エージーピー」に商号変更
2001年12月	JASDAQに株式上場
2003年3月	広島空港において営業開始
2004年10月	中部空港において営業開始
2006年2月	神戸空港において営業開始
2018年6月	Airport Ground Power (Thailand) Co.,Ltd 設立
2022年4月	東京証券取引所 スタンダード市場移行
2025年9月	株式非公開化
2025年12月	設立60周年

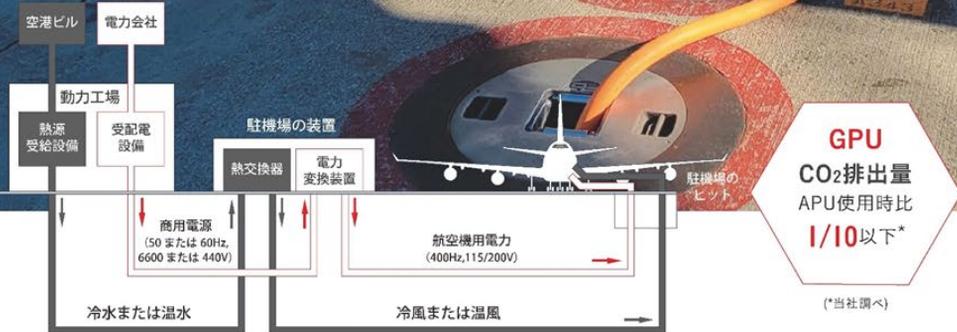


会社HPはこちらから



1965年の設立以来、当社は日本独自技術である固定式埋設型GPUの導入で騒音低減や供給スピード向上ならびにCO₂排出量の削減を実現し、現在は主要8空港で広く活用

創業当初からCO₂削減を視野に入れ、GPU*を推進。
AGPの動力技術が空の安全と、そして未来の環境を守っていく。



AGPのGPUは、
調達した電力をエネルギーとし、
航空機用電力や冷暖房を供給。

APU(補助動力装置)と比べ

- ①CO₂・排気ガスの排出削減
- ②騒音抑制
- ③航空燃料のコスト削減

*GPU : Ground Power Unitの略。地上において航空機に必要な電力や空調を供給する設備

エンジニアリング事業

- ・空港内特殊設備メンテナンス
- ・空港内施設（建物・諸設備）メンテナンス
- ・物流システムメンテナンス
- ・セキュリティ機器販売/設置/メンテナンス
- ・ビジネスジェット支援サービス

AGPの使命は、最先端技術への確かな対応だけではない。
環境配慮された空港ファシリティを提案し、未来型へと推進、管理していくことだ。

定時運行を支える「空港内特殊設備メンテナンス」、
施設・設備を最大限に機能させる「空港内施設（建物・諸設備）メンテナンス」
では、高品質と省エネという2つの命題に向けたエンジニアリング事業を展開、
推進しています。



金属探知器

爆発物検査装置(EDS)

X線検査装置

航空機に預ける手荷物の検査を手荷物搬送設備のコンベア上で自動的に行うラインスクリーニングシステム検査装置や、X線検査装置、金属探知機など、空港内セキュリティ機器の保守管理業務を行っています。

空港内の特殊機械設備で蓄積された技術・ノウハウを持ったプロフェッショナル
集団が、満を持して手がけるのは、空港外の物流システムへの挑戦だ。



エージーピーでは既存事業を通じて培った特殊機械設備の設計・工事・保全・運用の技術やノウハウを活かし、空港外業務領域の拡大を見据えた新規事業として「物流設備に係る事業」を展開しています。

商品販売事業

・航空機地上支援機材（GSE）販売・メンテナンス ・フードカートシステム販売

AGPは地上支援機材のフィールドでも、確かなサポート体制を整え、航空機の安全・定時運行はもちろん、地球環境にも貢献していく。

電動化、省人化を実現する航空機地上支援機材を開発・提供し、航空機運行の安全性や定時性の確保に寄与するとともに地球環境へも配慮しています。



バッテリー駆動式GPU

パッセンジャーボーディングレーフ

ブレーキクーリングカート

病院を、学校を、鉄道を。サッカー観戦までも、レストランに変えたい。省エネ・省スペースのAGPフードカートが、料理をどこまでも美味しくする。

機内食カートのノウハウを活かし、フードカートの開発をしてきました。業界トップクラスの再加熱カートをはじめ、省エネ構造の多彩なフードカートが今日も活躍しています。

エコ・省エネ・省スペース

- 省電力・省エネによる環境対応
- ランニングコストの低減

顧客満足度の向上

- 安全性
- 美味しさ
- 適時適温

業務効率の向上

- 生産性の向上
- 収益の安定確保

特徴

従業員満足度の向上

- 土日・早期出勤の軽減
- ゆとりある作業スケジュール

空を想い、技術を極め、環境社会を創る

今日、環境負荷の低減は地球規模での喫緊の課題となっていますが、当社は1965年の設立当初より、動力供給事業におけるCO₂排出削減及び騒音の低減を図り、空港環境の改善に寄与してきました。現在、その活動は他の空港事業者との協働によるエコエアポート活動の推進等、その裾野を広げており、今後AGPグループはその高い技術力と経験を活かし、更なる環境負荷低減活動に取り組んでまいります。

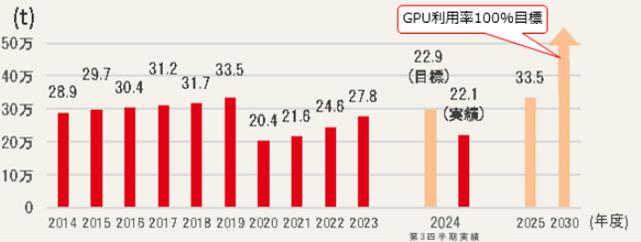
環境中長期計画

2030年度末までにGPU利用率100%を目標に掲げ、航空会社の皆さまへ当社設備の利用を促進しており、この取り組みにより、環境貢献と利益創出を両立させ、企業価値の向上を目指しております。

■ 航空分野CO₂排出量に対するAGP削減目標



■ GPU使用等によるCO₂排出量削減目標



主要 8 空港を拠点として、
24時間365日体制で
各空港に対応しています！



FACE
ECCO,
AGP!



空を想い、技術を極め、環境社会を創る。

2026年2月発行